

事業名 : TOYOOKA CENTRAL PARK

団体名 : TOYOOKA CENTRAL PARK 実行委員会

## 1 事業内容

日時 令和6年10月13日

場所 豊岡中央公園

内容 豊岡スイーツフェスティバル

(豊岡・但馬を中心とするお菓子を販売される事業者が出店するイベント)

### 【事業経過】

月 日	実施内容	場所	参加人数
7月1日	企画会議(出店者リスト化)	森津事務所	7人
9月1日	ポスター制作、配布	森津事務所	5人
10月12日	イベント準備	豊岡中央公園	12人
10月13日	イベント当日	豊岡中央公園	13人
10月14日	イベント片付け	豊岡中央公園	8人
10月30日	反省会	森津事務所	7人

## 2 事業の効果

### (1) 団体（組織）内の効果

地域の方に多くご来場いただきました。設営等で大変な面もあったが来場者の笑顔が見れたことで団体内としてもいいイベントができた。と満足感の高いイベント運営ができた。

今回は初めて新聞折り込みを入れて来場者が増えて団体の士気が上がり更なるモチベーションの向上となった。

### (2) 地域への波及

出店者同士の繋がり、来場者と出店者の繋がり、出店者と主催者、主催者と来場者、来場者と来場者の繋がりなど、多くの「繋がり」が生まれたイベントとなった。その要因として、スイーツという共通の好きなものが会話のきっかけとなったからだを考える。

## 3 協働の相手方

自団体以外と交流することができ、今後各々の団体がイベントや活動をする時に協力体制がとれるような繋がりを構築することができた。

## 4 今後の課題等

### (1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

非収益事業を継続するためには団体の地域への思いの共感と事業の魅力が必要不可欠である。今回のイベントからボランティアスタッフが増えた。それは、「おもしろそうなことをしているから是非お手伝いさせてもらいたい」という思いからであった。今後イベントをさらに大きくして行こうと思うと人手はどんどん必要となってくるので、さらに魅力ある事業を考え実行していくことが必要。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

(1)にも記載したが、拡大していくためには人手の確保が必須である。

「手伝いたい」と思えるような事業を行っていくこと。

それに加えて、ボランティアスタッフの募集を自身のSNSを通じて発信していく。



6年10月20日 イベント開始前



6年10月20日 来場者がお菓子を買う様子



6年10月20日 スケートボードエリア



6年10月20日 ボルダリングゾーン